

HP

後期高齢者医療制度 障害認定申請について

後期高齢者医療制度の被保険者は75歳以上の方ですが、65歳から74歳で一定の障がいのある方も後期高齢者医療制度に加入することができます。

ご本人に保険料がかかりますが、医療機関での窓口負担が1割（現役並み所得者は3割）となり、医療費の負担が軽減される場合があります。

お問合せ 国保年金課 ☎21-3184

※ 身体障害者手帳1～3級・精神障害者保健福祉手帳1級の方、知的障がいのある方でIQ50以下の方は、重度心身障害者医療費助成を受けることができます。

（所得制限あり）

お問合せ 障がい保健福祉課 ☎21-3187

HP

病児保育室 「りんごっこ」のご案内

仕事などのため、病気のお子さんの面倒を見ることができないときに、専任の保育士と看護師が一時的にお子さんをお預かりしますので、お困りの方はご利用ください。

なお、原則として利用日前日までに、あんざいクリニックを受診したうえでの予約が必要です。

場所 本通3丁目26番8号 ☎76-3210

対象 生後6か月～小学6年生

定員 4人/日

料金 1日2,000円、半日1,500円

※ 食事・おむつ等をご持参ください。

お問合せ あんざいクリニック ☎31-2202

子どもサービス課 ☎21-3284

HP

ほじょ犬について

「ほじょ犬（身体障害者補助犬）」とは、目や耳や手足に障がいのある方の生活をお手伝いする「盲導犬」「聴導犬」「介助犬」のことです。

身体障害者補助犬法に基づき認定された犬で、特別な訓練を受けていることから、人が立ち入ることのできるさまざまな場所で受け入れるよう義務付けられています。

受入義務がある施設等

▷公共施設、電車・バス・タクシーなどの交通機関

▷飲食店、商業施設、ホテル、病院等の不特定かつ多数の方が利用する施設

▷従業員45.5人以上の民間企業

お問合せ 障がい保健福祉課 ☎21-3263 FAX27-2770



HP

ノロウイルスによる 感染性胃腸炎を予防しましょう

お問合せ

（感染症について）保健予防課 ☎32-1539

（食中毒について）生活衛生課 ☎32-1523

ノロウイルスとは？

ノロウイルスは、人に感染して小腸で増殖し、下痢やおう吐等を引き起こすウイルスです。主に秋から冬にかけて流行し、例年1月から3月がピークとなる傾向にあります。



ノロウイルスの症状は？

潜伏期間は1～2日で、吐き気、おう吐、下痢、軽度の発熱が主な症状です。

通常1～2日で症状はおさまり、後遺症もありませんが、抵抗力の弱い高齢者や乳幼児などの場合、おう吐物をのどに詰まらせたり、脱水症状がひどくなるなどの危険がありますので、注意が必要です。

どうやって感染するの？

ノロウイルスの感染力は強く、ほとんどが経口感染（ウイルスが口から入って感染すること）です。ノロウイルスが付いた手や調理器具で調理した食品を食べて、食中毒を起こすこともあります。

予防方法は？

①基本は手洗い

調理の前・食事の前・トイレに行った後・外出先から戻った時・オムツ交換をした後・下痢症状のある人の便やおう吐物を処理した後などは、石けんを使って、よく手を洗いましょう。

②消毒・加熱処理

ノロウイルスには、アルコール系消毒剤は十分な消毒効果はありません。効果のある消毒は、次亜塩素酸ナトリウム（市販の家庭用塩素系漂白剤を薄めて使う）や、加熱（85℃以上の熱湯に1分以上浸す）です。

調理の時は、食材の中心部を85℃以上で90秒以上加熱すると有効です。

③便やおう吐物で汚染されたおそれがある場所の消毒

感染を拡げないために、便や吐物は、マスク・手袋をつけて飛び散らないように拭き取り、ビニール袋等に密封して捨てましょう。汚染された場所や物は、次亜塩素酸ナトリウムの消毒液で範囲を広めに消毒しましょう。